

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 NO. 9

■発行日/平成24年10月 ■編集発行/鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所/カネカ労組高砂支部内

高砂市議会議員のたかお治久です。9月27日に定例議会（3ヶ月1回開催）が終了しました。当後援会報では、9月定例議会中に実施した私の一般質問、定例議会にて議決した内容等について報告させて頂きたいと思います。

<一般質問：公共施設の老朽化対策 等>

『一般質問』とは、議員が本会議場で定められた時間（高砂市議会の場合40分間）を使い、自分の疑問・提案を市長以下行政当局に問うことをいいます。

1. 公共施設の老朽化対策について



～私の提案～

『「公共施設白書」を作成し、現有公共施設に必要な維持管理費用と将来ビジョンを公開した上で、市民と共に、何を残し、何を削るか、考えていくべきではないか？』



【詳しくは次ページをご覧ください。↓】

【質問要旨】

昨今「社会インフラの老朽化」や「公共施設の老朽化問題」等の言葉をテレビや新聞で散見する。先般も神戸新聞（平成24年7月24日朝刊）に「**姫路市の公共施設、今後40年間改修や建て替え7780億円の負担試算**」の見出しと共に、「市は庁内にプロジェクトチームを設け、統廃合も視野に施設の適正配置を検討する」との報道がされている。この高砂市の歴史を振り返ると、高度成長時代には近隣市も羨む豊かな市として様々な公共施設を建設してきたが、これらの多くが老朽化をむかえ、今後近い将来には更新の時をむかえる。**その高砂市は？**

質問①

高砂市の場合には姫路市と同様の試算をしたらどれ程の費用が必要なのか？、恐らくは今後40年を考えた場合**1000億円を超えるであろう膨大な費用が試算される**と思うが如何か？

答 弁

現在既に全公共施設に要する更新、改修の概算費用は算定しているが、**更に内容を精査した上でしかるべき時期に議会に示したい。**

質問②

期限を定め市民に公共施設の維持管理に関わる費用等の全体像となる「**白書**」を提示しては？市民の皆様は現実を分かって頂くことが選択と集中へのファーストステップと考えるが？

公共施設の総量維持は困難。**全体像を市民に示すことは必要**であると考え。「白書」という形になるかはわからないが**説明資料は作成する。**

質問③

期限を決め**公共施設の長期ビジョンを定めて**はどうか？

今年度に今後10年前後に築35年以上となる施設を整理。これらの施設の考え方を**庁内で議論した上で次の段階に進んでいきたい。**

質問④

平成25年度予算作成方針で、公共施設の老朽化対策として施設の統廃合を考えておられることはあるか？

幼保一体化での米田西保育園や北浜幼稚園の移転工事。教育センターの旧生石宿泊センターへの移転を計画している。

質問⑤

公共施設の老朽化対策のためにプロジェクト的に時間と人を集中的に投入し、一定の方向性を見出すことで、各論反対の市民に対し、背景と共に長期ビジョンを示し、「あれもこれも」はできない、「あれかこれか」を説明していくべきではないか？

最適な方法について全庁的につかさどる組織、体制について検討を進めたい。また**公共施設の全体像を市民に示し、この中で選択と集中を徹底し事業の優先度を決定し健全かつ持続可能な財政運営を行っていきたい。**

2. 公共交通見直しについて

【質問要旨】

平成13年より運行を開始したコミュニティバス。今回ルート見直しがされ、平成25年4月から新ルートで運行されることになっているが、行政の意図、具体案等を確認した。

質問①

今回の地域公共交通（コミュニティバス等）の見直しで何を課題とし何を解決したいのか？



答 弁

現在運行開始10年。更にニーズに適合することが目的で具体案は

- ①車両増（3台から4台へ）
- ②鹿島神社⇄加古川駅ルートを北山、長尾経由に
- ③JR曾根や山電大塩への乗入れ
- ④巡回的なループの採用
- ⑤西畑、梅井、文化会館への新たな路線の開始
- ⑥国道2号線以北の南池、北浜、牛谷東エリアでのコミバス廃止

質問②

現段階で地域公共交通の見直しは何処まで進んでおり、来年度スタート時には課題解決はどれ程出来る見込みなのか？

現在（9月19日）8地区の連合自治会に説明中。今後地域公共交通会議や陸運局への申請等所定の手続きを経て平成25年4月より運行を開始したい。ただ今後の協議事項としてバス停の位置、料金、利用促進策等がある。

質問③

現（案）でのそれぞれの予想乗車数はどう見込んでいるか？

乗車数、導入時は9万人を予想。現在は11万人位で推移。見直し後は13万人と予測している。

<高砂市議会 トピックス>

●平成24年9月一般会計補正予算（1,317百万円追加）の主な事業内容（歳出）

事業	補正予算額	目的、その他概要説明
減債基金積立	300百万円	今後増加する見込みの公債費返還に備え積立実施
オーケストラコンサート実施	50万円	優れた芸術鑑賞の機会を市民に提供すること目的に兵庫芸術文化センター管弦楽団（PAC）によるコンサートを計画。（平成25年3月29日高砂市文化会館にて実施）
予防接種事業	48百万円	ポリオの定期予防接種における生ワクチンのごくまれに麻痺を起す場合があり、これを不活化ワクチンに切り替える。（平成24年9月1日から実施）

低公害車購入	4百万円	地球温暖化対策の一環として環境学習、啓発、パトロール用に購入。財源は全額市町村振興宝くじの収益金。
ため池改修	73百万円	皿池（堤体工・取水施設工・浚渫工）蓮池（堤体工・取水施設工）落池（堤体工・取水施設工・洪水吐工）
市営住宅解体	3.4百万円	市営米田新住宅（昭和35,36年建設）の30戸の内、4戸を解体
高須松村線街路用地買収	59百万円	解散予定の土地開発公社が所有する土地約641㎡を市が購入。目的は同社解散前の保有資産軽減化。
公園墓地排水工事	1.6百万円	高砂墓地の排水工事。
北浜幼稚園建設	274百万円	幼保一体化に向けた北浜幼稚園の移転先（北浜保育園隣接地）土地買収。

●都市基盤整備対策特別委員会の設置

今般（平成24年9月）当委員会を立ち上げ以下4項目について議会の視点から課題の調査を進めることと致しました。（①JR曾根駅周辺整備 ②明姫幹線南地区まちづくり計画 ③曾根塩田跡地周辺整備 ④教育センター周辺施設）。いずれの課題も長年の懸案であり行政・議会が連携し前に進めていくことを目指しますので、私も委員の一人として積極的に関与していきたいと考えています。

●議会改革特別委員会における活動

昨年9月に同特別委員会を立ち上げ平成26年3月には議会基本条例の制定を目標にしています。私も1年間委員として活動をさせて頂き、現在の日本の地方議会や高砂議会の改革の必要性を実感しておりますが、まだまだ途中段階といった所です。

<私の主張>

本年5月それまで所属していた会派（民主クラブ）を離脱し、現在は無所属として活動をさせて頂いております。無所属になり、自分なりの意見を精度高く決断していくことは、これまで以上にエネルギーを要することではありますが、その分やりがいと責任を感じ日々取り組んでおります。

さて、今回の会報でも扱わせて頂いておりますが、**現在の日本全体の大きな課題の一つは、高度成長時代に建設した様々な公共施設の老朽化対策**です。

今回私が一般質問の場で行政に問うたのは、相当な費用がかかることを市民にも認識頂く必要があるのではないか？そのための手段として「**白書**」といったものを提案させて頂きました。「**あれもこれも**」の時代は終わり「**あれかこれか**」の時代が始まっています。そんな時代でもその時々に合わせて希望ある地域政策を提案、実現していくのが私の役割と考えていますが、**まずは現状の認識を共有することの大切さ**を訴えたいと思っています。

こういったことを含め、**日々の活動状況等を** **ブログ**（“たかお治久”で検索可能）に掲載しています。週に一度でも、是非ともご覧頂きたく、宜しく願い申し上げます。

鷹尾治久後援会 会長:林 靖二 副会長:大森 幹治 副会長:北野 光昭 幹事:畑中 隆禎 会計:谷村 英雄 監査:奈良 征岳

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)